



学校だより

令和7年1月31日
東京都立小平特別支援学校
校長 鈴木 愛

肢体不自由教育部門・病弱教育部門(病院訪問部) 〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671
病弱教育部門(センター病院内分教室部) 武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

1年間の学習のまとめと来年度へのステップとなる2月

「寝ごころや いづちともなく 春は来ぬ」俳人・与謝 蕪村 (よさ ぶそん)



暦の上では間もなく春。梅の花も咲き始めていますが、体感的にはまだまだ真冬の寒さと、関東地方は空気の乾燥も気になるところです。そして2月2日は節分ですが、病気や災害を鬼に見立て追い払う日本の伝統行事ということで、豆まきを予定されている御家庭も多いのではないのでしょうか。あっという間に駆け抜けていく3学期も残す登校日数30日ほどとなり、高等部3年生は卒業後の社会生活に向けて、その他の学年の児童・生徒は進学や進級に向けて学習のまとめと新年度に向けた準備をしているところです。

南海トラフ地震臨時情報を受けて

さて、鬼に見立てた災害を豆まきで追い払ってしまいところですが、1月13日(月)午後9時19分頃に宮崎県の日向灘で発生した最大震度5弱(マグニチュード6.9)の地震に伴い、「南海トラフ地震臨時情報(調査終了)」が発表されたのは記憶に新しいところです。昨年1月1日(月)16時10分に発生した、石川県能登半島地震



(最大震度7、マグニチュード6.7)も「つい最近の出来事」ですが、宮崎県日向灘では昨年8月8日(木)にマグニチュード7.1の地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表され、緊張感が高まっているところでした。今回の地震に関し、気象庁及び専門家からは「南海トラフ地震を誘発するとは考えにくい。」と発表がりましたが、併せて「南海トラフ巨大地震が起きる可能性は高まっている。この機会に避難経路の確認や家具の固定など、日頃の備えを強化することが大切。」との声明も出されています。改めて日本が地震大国であることを実感するとともに、本校としても日頃から一層備えておかななくてはとの思いを強くしました。各御家庭におかれましても、改めて御家庭内の家具類の固定や災害用備蓄物品の有無、御家族の連絡方法(災害伝言ダイヤルの活用など)や集合場所、指定避難場所などの確認をする機会としていただければと思います。

防災教育推進委員会を開催しました

1月15日(水)に、第2回防災教育推進委員会を開催しました。本委員会設置の趣旨は「令和6年能登半島地震、東日本大震災及び近年の自然災害を踏まえ、児童・生徒に、災害から自らの命を守るために必要な「自助」の能力を身に付けさせ、防災に関する意識の高揚を図るとともに、助け合いや社会貢献など「共助」の精神を育み、人間としての在り方生き方を考えさせるため、全ての都立学校において、学校や地域の実態に応じた体験的、実践的な防災教育の充実を図る。」ことです。小平消防署員や小平市防災担当者他、地域関係機関の方が委員となり、当日は火災想定での避難訓練の様子を参観していただいた後、委員会にて率直な御意見や感想をいただきました。引き続き、地域関係機関や関係者と連携・協力しながら、防災教育を推進していきます。



ハンドサッカーの紹介です

肢体不自由特別支援学校には、様々な障害がある子供たちが在籍しています。小学校や中学校、高等学校と同じように各教科などの授業があり、体育の授業もあります。子供たちは球技にも興味津々ですが、パラリンピック種目であり一般の方にも広く知られている車いすバスケットボールや車いすラグビー、また、電動車いすサッカーといった競技は、重度の障害がある児童・生徒もいる中、みんなが一緒に行うには難しい種目です。そこで、様々な障害がある子供たちの実態に合わせ「障害がどんなに重度でも、児童・生徒が皆で参加できる種目をつくろう！」と、平成初期に当時の都立肢体不自由養護学校保健体育の教員らが試行錯誤して生まれたのがハンドサッカーです。ポッチャ同様、障害の有無や年齢など関係なく皆が一緒に楽しめるスポーツです。誕生から35年と歴史あるハンドサッカーですが、平成元年度から早くも交流大会が始まっています。第1回、第2回大会は肢体不自由養護学校2校だけの参加でしたが、現在、東京都肢体不自由特別支援学校体育連盟が毎年2月中旬に主催する大会は、都内肢体不自由特別支援学校全18校が参加する大規模大会となっています。平成25年の東京国体ではオープン競技として採用された後、茨城県でも大会が開かれるなど、全国各地にハンドサッカーの輪が広がっています。

本校でも、昨年11月から部活動でハンドサッカーが始まっています。毎年30人ほどの児童・生徒が参加しています。今年度は約25名でチームを組みます。昨年度2月に実施された東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会（武蔵野の森総合スポーツプラザメインアリーナ）は、風神リーグと雷神リーグの2リーグ制で開催され、本校からは風神リーグに2チームが出場しました。小平A・Bチームはそれぞれチームワークよく勝ち星を重ね、風神リーグ決勝戦はなんと本校同門対決となり優勝と準優勝を分け合いました。副校長としては、どちらにも勝って欲しくてコートのをウロウロしながら応援しました。校内で紅白戦ができるほどの児童・生徒が参加している肢体不自由特別支援学校は、本校の他に数えるほどしかありません。先輩が後輩に戦術や技術を伝えながら、互いに切磋琢磨し成長していく姿を間近で見られるのは教育者冥利につきます。今後も子供たちの学び合いの場として、部活動にも力を注いでいきます。

そして今年は2月15日（土）に、都立府中けやきの森学園と都立花畑学園の2会場で同大会が開催されます。チーム小平は府中けやきの森学園が会場ですが、今から活躍が楽しみです。ぜひ現地で、児童・生徒たちの熱気あふれるプレーの様子を応援したり参観したりしていただければと思います。

副校長 古山 尚秀

